



# けんぽく農林ニュース

ふくしまから はじめよう。  
「食」と「ふるさと」新生運動ニュース

～県北地方の「食」と「ふるさと」新生運動に関する  
情報をお知らせします～



できました！「福島のもも」  
どうぞ召し上がれ～



もも「ふくあかり」(伊達郡桑折町)

## 第1回おいしい ふくしま いただきます！キャンペーンを開催しました！

令和元年7月28日(日)、福島市のヨークベニマル福島西店において「おいしい ふくしま いただきます！キャンペーン」を開催し、おいしい福島県産農林産物のPRをしました。

このキャンペーンは県北地方の特産品を中心に、県産農林産物のおいしさや安全性を県民の皆様にも再認識していただき、県内消費の拡大、地産地消の推進を図るために開催しているものです。

当日は、ミスピーチキャンペーンクルーが福島のももの主力品種「あかつき」をはじめ、とうもろこしやしいたけ、きゅうりなどの試食品を配布し、来店者からは大変おいしいと好評でした。また、風評払拭に向けたパネルの展示やアンケート調査を行いました。

当日1,000円以上お買い上げの方には抽選会に参加いただき、6次化商品や県産農産物のプレゼントも行い、こちらも大変好評でした。

次回以降のキャンペーンの詳細は、決まり次第、けんぽく農林ニュース等でお知らせします。皆様のお越しをお待ちしております。

(企画部)



ミスピーチによるももの試食提供



アンケート・抽選会ブース

## 「田んぼの学校」生きもの調査を実施しました！

令和元年7月4日(木)、今年度「田んぼの学校」に取り組んでいる福島市立余目小学校において「生きもの調査」を行いました。

当日は朝からあいにくの雨で心配しましたが、児童みんなの想いも通じたのか、直前に雨が上がり、野外で思いきり活動することができました。5年生児童22名は、講師としてお招きしたアクアマリンふくしまの春本宜範氏や田んぼの学校長の柝窪三男氏からアドバイスを受けながら、5月に田植えをした田んぼ周辺の用水路で、網を片手に生きものを根気よく捜していました。児童たちはカエルを始め、ドジョウやアメリカザリガニなど多くの生きものを採取し、水槽に移して学校で観察しました。

春本氏からは、「採取した生きものの中のアメリカザリガニ(北米原産)、タモロコ(琵琶湖原産)、フクドジョウ(北海道原産)は、本来県内に生息していなかったが、人間が放流したり紛れ込んだりして、強い繁殖力により生息範囲を広げ環境に影響を及ぼしている」などの話があり、児童たちは熱心に聞いていました。

また、ため池の重要性とそのため池が被災した場合の被害予想地域を示すハザードマップについて、擬人化したカエル等が登場する紙芝居で学ぶ出前講座が、県農村基盤整備課の職員により行われました。

田んぼの学校では、今後も稲刈りや合同成果発表会などを行うこととしておりますが、これらの活動を通じて児童たちが「食・命の大切さ」や「自然環境の大切さ」を学んでいただければと思います。

(農村整備部)



春本氏から挨拶



水路の調査



たくさんのカエル



職員による紙芝居

## 安達地方生活研究グループ連絡協議会「リーダー研修会」が開催されました！

令和元年度の安達地方生活研究グループ連絡協議会「リーダー研修会」が開催され、生活研究グループ員等38名の参加により、大玉村内の農産物直売所、農業施設等の視察研修が実施されました。

「あだたらの里直売所」と「お食事処たまちゃん」では、直売所の矢吹吉信店長の説明があり、直売所、お食事処のこれまでの経過や、産業振興センターとして今後、アットホームおおたまなど宿泊可能な施設を利用した、農業体験ツアーなども企画していきたいことなどの説明がありました。

「あだたらドリームアグリ」では、斎藤眞治代表から、法人化までの経過説明や地域的にまとまりのある集落で集落営農ができてきたこと、法人化してから機械やライスセンターの施設が充実したこと等の説明をいただいた後、ライスセンターやミニトマトの養液栽培の施設を視察しました。

大玉村農村環境センターでは、ペルーのマチュピチュ村を開拓した野内与吉氏のDVD鑑賞と大玉村出身の斎藤良夫画伯の絵画鑑賞と画伯本人の絵画説明等がありました。

最後に、「アットホームおおたま」で川木つや子会長より、地域活性化に寄与している組織の視察で充実したリーダー研修となったこと等の挨拶があり、研修会は終了しました。参加者は一様に満足していた様子でした。

(安達農業普及所)



大玉村直売所前 川木会長挨拶



大玉村農村環境センター「マチュピチュ村と野内氏」の説明



リーダー研修全体写真



あだたらドリームアグリライスセンター内 斎藤代表の説明

## 経営改善セミナーを開催しました！

令和元年7月3日(水)、JAふくしま未来福島南支店(午後の部)及びJAふくしま未来本店別館(夜の部)において、当事務所主催、福島市認定農業者会及び川俣町認定農業者会共催により「令和元年度経営改善セミナー」を開催し、農業者や関係機関担当者など50名の参加がありました。

本セミナーでは、税理士法人寺田共同会計事務所社員常務税理士で福島県普及指導協力委員の深瀬善太税理士から、「消費税法改正研修～消費増税と複数税率による影響～」と題して、この10月1日から改正される消費税の制度概要や個別事例、帳簿・請求書の記載要件等について講演をいただきました。また、情報提供として、福島県農業共済組合福島支所から「収入保険制度について」、当事務所から「認証GAPの取組について」の説明を行いました。

参加者からは、「品物と送料を別にしてしている場合や込みの場合はどうなるのか」などの質問もあり、税制改正に対する関心の高さがうかがえました。

当事務所では、農業者の経営改善に向け、引き続き支援を行っていきます。

(農業振興普及部)



午前部の講演の様子



夜の部の講演の様子

## 県北・相馬地方 GAP 研修会を開催しました！

令和元年7月17日(水)、福島市のウィル福島アクティおろしまちにおいて、当事務所及び相双農林事務所主催、JAふくしま未来共催により「令和元年度県北・相馬地方GAP研修会」を開催し、農業者や関係機関担当者など100名の参加がありました。

本研修会では、農研機構中央農業研究センター田口光弘上級研究員から、「GAP認証を『知る・取る・活かす』」と題して、認証取得後に経営の中でGAPをどのように活かしていくのかについて講演をいただきました。また、県環境保全農業課の職員からは、「認証GAP取得者に対する効果聞き取り調査の結果」について情報提供いただき、最後に当事務所担当より「第三者認証GAP取得等促進事業及び環境保全型農業直接支払事業」について事業説明を行いました。

参加者からは、「全国的な認証取得の動向は？」などの質問もあり、GAPへの関心の高さがうかがえました。

当事務所では、認証GAPの取得拡大に向け、引き続き支援を行っていきます。

(農業振興普及部)



田口光弘先生の講演



質問をする参加者

## DATECプロジェクト活動「伊達な畑カフェ 夕方市」が3周年！

伊達地方の農業を担う青年農業者クラブ「DATEC(ダテック)」(会員23名)では、プロジェクト活動として、平成28年8月から、毎月第3木曜日に消費者交流イベント「伊達な畑カフェ 夕方市」(以下、「夕方市」)を開催しており、今年8月には3周年を迎えます。

夕方市は、若手農業者が地元農産物や加工品の販売を通して、農産物等の特徴や魅力を発信し、地域農業をPRすることで消費者の理解と交流を深めることを目的としたイベントです。

7月の夕方市では、会員が作ったモモ、キュウリ、ジャガイモの他、リンゴの樹から作ったカトラリー(食器)等を販売しました。来場者からは、「いつも新鮮な青果物の購入を楽しみにしている」と好評でした。DATEC会員からは「3年間の活動の中で常連客をつかむことができた。さらに多くの方に立ち寄っていただけるよう工夫していきたい」と今後の意気込みも出されました。

次回のDATECの夕方市は、8月15日(木)に阿武隈急行保原駅前公園にて16時半～18時半まで開催される予定です。当日は、モモ、キュウリ、ミニトマト、リンゴジュース、カトラリー等を販売することです。ぜひ足を運んでみてください。

当所としましても、本プロジェクトを引き続き支援し、DATEC活動のさらなる活性化を図っていきます。  
(伊達農業普及所)



DATEC会員



夕方市の様子

## 特定家畜伝染病対策 県北地方連絡会議を開催しました！

令和元年6月27日(木)、福島市の自治会館において「福島県特定家畜伝染病対策県北地方連絡会議」を開催し、連絡会議の構成員である関係機関、団体から47名が出席しました。

当管内では国内での豚コレラの発生などを背景として、既存の鳥インフルエンザ県北地方対策本部及び連絡会議を改編し、鳥インフルエンザ、牛豚等特定家畜伝染病を対象とした「特定家畜伝染病県北地方対策本部」及び「同連絡会議」を新たに設置することが決議されました。

国内の家畜伝染病発生状況を見ると平成30年9月に岐阜県の養豚場において、26年ぶりとなる豚コレラが発生し、その後も発生事例が増え続けており、本県へのウイルス侵入リスクは一層高まっていると考えられ、本病の侵入防止対策、発生時の備えが重要になっています。

今回、県北地域における特定家畜伝染病対策の推進、防疫体制の整備を図るため、豚コレラ、鳥インフルエンザへの対応にかかる組織体制や役割分担、初動防疫、本年度の活動について出席者一同確認しました。

万が一、特定家畜伝染病が発生した場合に、万全の体制で初動防疫が行えるよう、より実効性のある防疫計画の作成が必要であり、本年度は、養豚農家における計画作成に向けて構成員が連携して取り組んでいきます。

(農業振興普及部)



会議の様子



県北家畜保健衛生所による特定家畜伝染病に関する説明の様子

## 園芸の新技術の普及に向けた取組を展開中です！

当事務所伊達農業普及所では、「アグリふくしま革新技术加速化推進事業」に取り組み、「小ぎく」、「いちご」、「ぶどう」の栽培管理に関する新技術の普及を図るため、生産者の協力の下、実証ほを設置しています。

令和元年6月26日(水)、県伊達合同庁舎において、実証ほ設置生産者や関係機関団体等の職員を参集して「令和元年度第1回先端技術活用による農業再生実証伊達地域推進協議会」を開催しました。会議では「電照栽培を核とした夏秋小ぎくの効率的生産」、「いちごの複合環境制御による生産安定」、「ぶどうの根圏制御栽培・V字型2段仕立てによる早期成園化と省力化」の3技術について、担当者より実証技術の目的や現在の進捗状況について説明しました。参加者からは特にぶどうに関して、制御方法の詳細や導入時の費用対効果等の質問が出されました。

また、翌日の6月27日(木)には小ぎくの実証ほにおいて、JAふくしま未来保原花卉生産部会員を対象に現地検討会を開催しました。実証技術となる電照処理には管内で初の桃色LED電球を使用しており、電照処理による8月盆需要期の出荷見込みについて検討しました。無処理は7月中旬に出荷となりましたが、電照処理は狙いどおり8月上旬に出荷となる見込みです。生産者は、蛍光灯よりも省エネな桃色LED電球の開花抑制効果について関心を示していました。

さらに、7月18日(木)には現地ほ場及び県伊達合同庁舎において、「令和元年度食料生産地域再生のための先端技術展開事業にかかる推進会議」が開催されました。現地はぶどうの実証ほを見学し、生育状況等を確認しました。現在の生育は順調で、実証ほの生産者は根圏制御栽培による裂果の減少や、V字型2段仕立てによる増収、品質向上、作業労力の軽減等の効果を期待しています。

なお、いちごについては今秋から実証ほを設置します。

当所としましては、引き続き実証ほの調査を行い、様々な機会を通じて実証技術や成果を紹介し、普及を図っていきます。

(伊達農業普及所)



推進協議会の様子 (6/26)



小ぎくの現地検討会の様子 (6/27)



推進会議の現地ほ場確認（7/18）



推進会議の様子（7/18）

### 列状間伐の推進をしています！

列状間伐とは、植栽列や斜面方向等に沿って直線的に一定の列（幅）を決めて伐採する間伐の方法で、かかり木処理の安全面、作業の軽減を勘案した低コストで効率的な間伐作業として全国的に取り組まれています。

令和元年7月2日（火）、この列状間伐を県北地方において普及推進するため、県行造林二本松市高日向地区で現地検討会を実施しました。

事業者とともに施工位置図と現地を確認し、伐採幅と伐採方向の検討を行い、沢等の微地形での対応を協議するなど、中身の濃い検討会となりました。

採算の合う林業への期待が高まっているなか、地域への波及に取り組んでいきます。

（森林林業部）



検討会の様子



検討会の様子



## 大学生の発想で新たな「りょうぜん」の魅力発掘を！

「NPO法人りょうぜん里山がっこう」では、平成29年度より福島県の「大学生の発想によるけんぼく『食』と『農』の魅力発信事業」に取り組んでいます。この事業は大学生が、過疎・中山間地域の住民と交流を通して「食」と「農」の魅力等について理解を深め、学生自らの発想で新たな郷土料理やスイーツの開発、地域の魅力を発信するためのツアーの企画やパンフレットの作成により、情報発信することで地域の活性化を図ることを目指しています。

7月20日(土)、本年度第1回目のワークショップを開催し、福島学院大学食物栄養学科の学生8名と、関係者約16名が参加されました。キックオフ・ミーティングの後、地元野菜を使った料理実習と試食会、地元農家で作る「大石3ちゃん倶楽部」とクラフト作り体験交流、さらに霊山町大石地区の魅力を見つけるフィールドワークを実施しました。

ワークショップは、今回を含め計5回の開催を予定しており、次回以降は新たな郷土料理の試作検討をすすめ、完成した新メニューについては、福島学院大の学祭や、地元の恒例イベント「大石たべもの博」へ出展しPRする予定です。これに併せて、活動内容をSNS等により情報発信することも予定されています。

(企画部)



地元野菜を使った調理実習



完成した野菜満載料理



クラフトづくり体験交流



地元の寺社仏閣を見学（霊山寺）

## つるむらさき栽培に落差かん水装置を導入しました！

つるむらさきは熱帯アジア原産の葉物野菜で、次々に出てくる腋芽を収穫して出荷します。

収穫時期はハウスでは5月下旬、露地では7月上旬から始まり、例年11月頃まで続いていきます。そんなつるむらさき栽培で現在問題となっているのは、ほ場の水管理です。つるむらさきは暑さに強い一方で、乾燥には弱い性質を持っています。

そこで、二本松市の東和地区でつるむらさきのハウス栽培を営んでいる農家では、今年から落差による点滴かん水装置を導入しました。タンクの設置高さは地上から 1.2m程度ですが、十分なかん水ができおり、現地のつるむらさきは葉色が濃く、目立った病害もなく元気に生育しています。

また、こうした定期的なかん水は、乾燥した土壌に多く発生し、栽培上で大きな課題となっている、ネコブセンチュウの被害軽減にも効果的です。

当所では、今後も収量アップや省力化につながる技術情報の提供などを通じて、現地のつるむらさき栽培を支援していきます。

(安達農業普及所)



落差かん水装置導入ハウス



設置タンク



ハウス内部



つるむらさき生育の様子

## 第4回福島県きのこ料理コンクール 参加者募集！！

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会では、きのこについての正しい知識とその利活用の普及啓発を図るため、今年度も県産きのこを使用する料理コンクールを開催します。

応募資格は16歳以上または高校生以上で、県内在住の方。応募条件・応募方法等は、下記URLを御確認ください。

皆様の御応募、お待ちしております！

### ■応募締め切り

令和元年9月30日(月)必着

### ■お問い合わせ先

公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会 きのこ振興センター

電話 024-947-2188

### ■「第4回 福島県きのこ料理コンクール」URL:

<https://www.fukurin-net.jp/?p=8892>

(森林林業部)

**第4回 福島県きのこ料理コンクール**

# 参加者募集!!

**応募締切**  
令和元年 **9月30日** 必着

**応募条件**

- きのこを用いた未発表の料理
- 福島県内で生産されたきのこを使用
- 材料費は、4人分で2,000円以内  
※県産きのこの販売先: JA直売所、道の駅等
- 調理時間は1時間以内  
※乾燥きのこ等をもどす時間を除く。
- 本審査に参加できること

**応募資格**

- 16歳以上または高校生以上で、県内在住の方
- 応募は、個人(グループの場合は代表者)に限ることとし、一人1作品

**応募方法**

- 応募用紙(所定)に必要事項を記載するとともに作品の写真(カラー)を添付し、応募先に郵送又はメールで送付  
※応募用紙は、公益社団法人森林・林業・緑化協会ホームページに掲載しています。  
URL: <http://www.fukurin-net.jp/>

**審査日程**

<b>1次審査(書類審査)</b> 令和元年10月下旬 ※審査結果は、通過者(7名以内)のみの連絡とさせていただきます。	<b>本審査(調理審査)</b> 令和元年11月16日(土) 会場: 郡山安積総合学習センター(郡山市安積町前井字南赤坂265番地) ※本審査出場者は、令和元年10月31日までに連絡します。	<b>全国大会</b> 最優秀作品は全国大会に <b>県代表</b> として出場 (開催(予定)) 期日: 令和2年3月上旬 場所: 東京都
--------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------

**表彰**

- 最優秀賞(県知事賞)……1名
- 特別賞……1名
- ※応募総数が200点以上の場合、最優秀賞(県知事賞)を2名とする。
- 優秀賞……2名
- 奨励賞……若干名

**助成**

- 本審査出場者の旅費及び材料費(2,000円)
- 全国大会参加に必要な経費(2名以内の旅費を含む。)

**応募先及び問い合わせ先**

〒963-0112 郡山市安積町成田字西島坂7-2  
公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会 きのこ振興センター  
TEL 024-947-2188 E-mail fukukinoko@iaa.itkeeper.ne.jp

主催 ● 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会 / 福島県きのこ振興協議会  
後援 ● 福島県 / 福島県森林組合連合会 / 全国農業協同組合連合会福島県本部

**「自分で採った野菜で健康料理」教室を開催します！**

自分で採った新鮮な野菜などを使って、親子でおいしい料理作りに挑戦しませんか？ 県北管内にお住いの小学4年生～6年生のお子様と保護者様の参加を募集しています。二本松（東和コース）と伊達（五十沢）コースがありますので、ぜひ御参加ください！

■ 日程

二本松（東和）コース 令和元年8月24日（土）

伊達（五十沢）コース 令和元年9月22日（日）

■ 参加費

一人 500 円

■ 問い合わせ先

県北地方振興局 ☎024-521-2647

■ お申し込みは下記の県北地方振興局のホームページから、申込用紙をダウンロードの上、株式会社 f's ぽけっとに FAX か E メールを送信してください。

・・・ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01210a/kenkouryouri.html>

（企画部）



**親子で挑戦!**

**「自分で採った野菜で健康料理」教室**



自分で採った新鮮な野菜などを使って、親子でおいしい料理づくりに挑戦しませんか？ 専門家が「減塩」や「バランス食」の大切さについて、分かりやすく解説し、家庭内での健康的な食生活の定着を目指します。



**各コース共通**

■ 内容：収穫体験、料理教室、栄養講座

■ 募集人数：福島市、二本松市、伊達市、本宮市、伊達郡、安達郡にお住まいの小学生（4～6年生）のお子様と保護者の方10組程度

※1組につき、お子様は2名様まで、保護者の方は1名様まで。  
※応募者多数の場合、抽選で参加者を決定させていただきます。

■ 参加料：500円/名（材料費など）    ■ 申込方法：FAXまたはEメール

**二本松（東和）コース**

**8月24日（土）**

ご集合 JR福島駅西口 9時00分  
JR安達駅東口 9時40分

有機野菜の生産農家で収穫体験、料理教室は「木桶の福祭り」で有名な津澤島神社で行います。

JR福島駅 — [専用バス] — JR安達駅 — 農家民宿 遊雲の里(野菜収穫体験 約1時間) — 木桶福澤島神社参宿所(昼食・料理教室・栄養講座) — JR安達駅 — 16:00 JR福島駅 到着

**伊達（五十沢）コース**

**9月22日（日）**

ご集合 JR福島駅西口 9時30分  
阿武隈急行・梁川駅 10時25分

あんぽ補発祥の地「五十沢」で、地元野菜の収穫体験、あんぽを使った健康料理づくりを行います。

JR福島駅 — [専用バス] — 阿武隈急行・梁川駅 — 五十沢地区(野菜収穫体験 約1時間) — 五十沢小学校(昼食・料理教室・栄養講座) — 阿武隈急行・梁川駅 — 16:15 JR福島駅 到着

主催：福島県（県北地方振興局・県北保健福祉事務所・県北農林事務所・県北建設事務所・県北教育事務所）

お問い合わせ先

福島県 県北地方振興局 企画商工部 〒960-8670 福島市杉妻町2-16 ☎024-521-2647

お申し込み先（事業受託者）

株式会社 f's ぽけっと（福島県知事登録旅行業第3-361号）〒960-1241 福島市松川町字市坂16-26 ☎024-563-5830 FAX:024-563-5832 E-mail:tabi@fspocket.co.jp



## けんぼくの直売所紹介 だてかベジフル農産物直売所・フレッシュBOX 「26年連続！献上桃の郷 桑折町の桃」

今年も桑折町の桃が献上桃に選定されました！献上桃となるのは福島を代表する桃、「あかつき」で7月下旬から収穫が始まります。8月上旬が「あかつき」の旬です。ぜひ、「献上桃の郷」桑折町のおいしい桃を御賞味ください。

### ●だてかベジフル農産物直売所

農家が丹精して作り、朝穫りした新鮮な桃が店頭に並びます。桃の時期は夏時間で8時半から開店しますが、大人気のため午前中のうちに売り切れてしまうこともあります。お早めにお求めください。

〒969-1643 伊達郡桑折町大字谷地字南9-1 ☎024-582-4560  
営業時間 桃の時期は8:30～16:30



### ●フレッシュBOX

桑折町に畑がある農家さんが会員となり運営しています。フレッシュBOXでは贈答用だけでなく、家庭用の規格外品も販売しており、大人気ですぐに売り切れてしまいます。向かいの「光センサーもも直売所」では共選場に出荷された桃を販売しております。

〒969-1616 伊達郡桑折町字館 28 ☎024-582-2301

営業時間 桃の時期(7月～8月)は8:30～17:00 (7・8月は休まず営業)



編集・発行 福島県東北農林事務所 企画部 地域農林企画課

電話 024-521-2596 FAX 024-521-2850

ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/>

電子メール [kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp](mailto:kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp)

